

科目名 医療安全	配当時期 2年次	講義担当者	
時間割表記名 医療安全	単位数 1単位	森山ひろみ	
	時間数 15時間(8回)	石井美香子	
事前学習内容 1年次の「現代医療と看護」や日常生活援助技術で学習した医療安全に関する内容を復習する。			
授業目標 1. 医療事故における看護師の法的責任、医療安全管理と医療事故防止、事故発生時の対応について理解できる。 2. 医療安全の基礎的考え方を学習し、対象及び医療従事者の安全を保障する行動について理解できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携し・協働する意義と方法を理解することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1.医療安全管理の概要 1)医療安全管理の変遷 2)医療事故増加の背景 3)人間の特性とヒューマンエラー 2.人間の特性を考慮した対策	講義 グループワーク	テキスト①②
2	3.看護業務の特性と医療事故 1)看護をめぐる医療事故の現状 2)看護業務の特性と事故 3)看護学生が起こしやすい事故 4)病室環境の危険予測	講義 シミュレーション	テキスト①②
3	4.看護事故防止の考え方 1)間違いによる事故を防ぐ3ステップ 2)危険の予測・評価による事故防止の2ステップ 3)事故発生後の患者の被害拡大防止 4)療養上の世話の事故防止	講義 グループワーク	テキスト①②
4 5	5.看護事故分析:Pm-SHELLモデルを用いた事例分析 1)Pm-SHELLモデルとは 2)事例分析【看護学生のインシデント事例分析】 3)要因分析と対策	講義 演習	テキスト①②
6 7	6.組織としての安全管理体制への取り組み 1)組織的な医療安全管理の考え方と医療安全体制の概要 2)組織としての医療安全体制への取り組みの実際	講義	テキスト① 第7章・第8章 テキスト②

	7.医療事故防止対策としてのインシデントレポートの活用 1)起こしやすいインシデント事例の活用の実際 8.組織的な医療安全活動へ積極的参加への取り組み 9.医療安全における医療者と患者の協力		
8	筆記試験 (45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義と SHELL 分析はグループワークで進める。 ○評価は筆記試験で行う。 			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> <p>課題レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ①系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践2 医療安全 医学書院 ②医療安全ワークブック 医学書院 <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療におけるヒューマンエラー 医学書院 ②学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 医学書院 			